

## 第五十八期天理教学生会活動方針

日々の生活の中で喜び合い、一人ひとりがを、やに喜んでもらえる姿になろう

第五十八期天理教学生会は喜びに溢れた一年にします。新型コロナウイルスの節を通して、当たり前なことが有り難いことだと気づくことができた今、学生会の仲間に出会うこと、行事をすることなど、様々なことに対して喜びを感じられます。その喜んでいる姿が周りの人にうつり、喜びの輪が広がります。一人ひとりが喜べる学生会になります。みんなが喜んでいる姿は陽気ぐらしの実現につながります。つまり、親神様・教祖に喜んでいただけるといことです。日々の親神様の御守護に気付き、どんな状況の中でも喜びを見出せる道の学生を目指して、みんなで協力していきましょう！

### 一、つながりを大切にしよう！

今あるつながりを大切にし、喜びを感じましょう。仲間とのつながりを大切にすることでお互いのことを知るきっかけになります。そこで、コミュニケーションをとりましょう。仲間とコミュニケーションをとることで、つながりがより深まり、喜べる機会も増えます。その喜んでいる姿が周りの人にうつり、喜びの輪が広がり、より多くの人が喜べるようになっています。例えば、行事は一度に多くの人とつながることができ、コミュニケーションをたくさんとることができ、人と話すことが苦手な人でも、人の話に傾いたり耳を傾けたりすることで、コミュニケーションをとることができます。他にもSNSを通して話すこともコミュニケーションになります。それぞれに合った方法で実践していきましょう。

そして、道の学生として教会につながることも大切です。教会に足を運ぶことによっては、親神様・教祖に毎日元気に通らせていただけることへの感謝を直接伝えることができます。また仲間の悩みや不安を親神様・教祖にお伝えすることによって、仲間の助かりになり、自分自身の助かりにもなります。個人または仲間と共に参拝に行くことで、親神様・教祖にお喜びいただけれます。

つながりから生まれた喜びが周りに広がることで、を、やに喜んでもらえる姿になります。だからこそ、仲間や教会とのつながりを大切にしましょう！

### 一、お道の教えで喜びを感じよう！

お道には、日々の生活の中で、たくさんの喜びを感じることが出来る教えがあります。今期は「かしもの・かりもの」の教えを推進します。大間というものは、身はかりもの、心一つが我がのもの。たった一つの心より、どんな理も日々（ちのち）出る」おさしづ（明治二十二年二月十四日）とお聞かせくださっている通り、私たちの身体は親神様からお借りしているものです。かしもの・かりもの」の教えは、天理教教典や先生からのご講話から学べます。この教えが心に治まった時、日々の中で自ずと感謝や喜びの感情が湧きます。それらを態度や行為に表すのが、ひのきしんです。ひのきしんを通して身体を使わせていただけることへの喜びを感じ、その感謝を親神様にも伝えることができます。報恩感謝の心を持つことで、どんな事でもひのきしんになり、誰にでも簡単に実践できます。

個人で実践したり行事を通して仲間と共に実践したりするなど、各学生会に合わせた方法で実践していき、喜びを感じましょう！

### 一、教祖の心遣いを実践しよう！

教祖は私たち人間が陽気ぐらしを実現できるように、ひながたをお示しくされました。そのひながたを学ぶ方法として、稿本天理教教祖伝「稿本天理教教祖伝逸話篇」を推進します。これらを読むことで、教祖のどんな中でも喜び勇んで通る姿や、誰にでもあたたかい親心で接する心遣いを学ぶことができます。

教祖のひながたを学ぶことで、どんな中でも喜びを感じることが出来ます。また、ひながたから学んだ教祖の心遣いで周りの人と接することで、多くの人に喜んでもらうことも出来ます。そうすることで、日々の生活の中でより多くの喜びを感じることができ、仲間にも喜びを広げることが出来ます。自身が喜び、周りの人に喜んでもらえる姿になることで、周りに喜びが増えていきます。教祖の心遣いを個人や学生会の仲間と学び、実践し、仲間と共に喜び合ってくださいましょう！